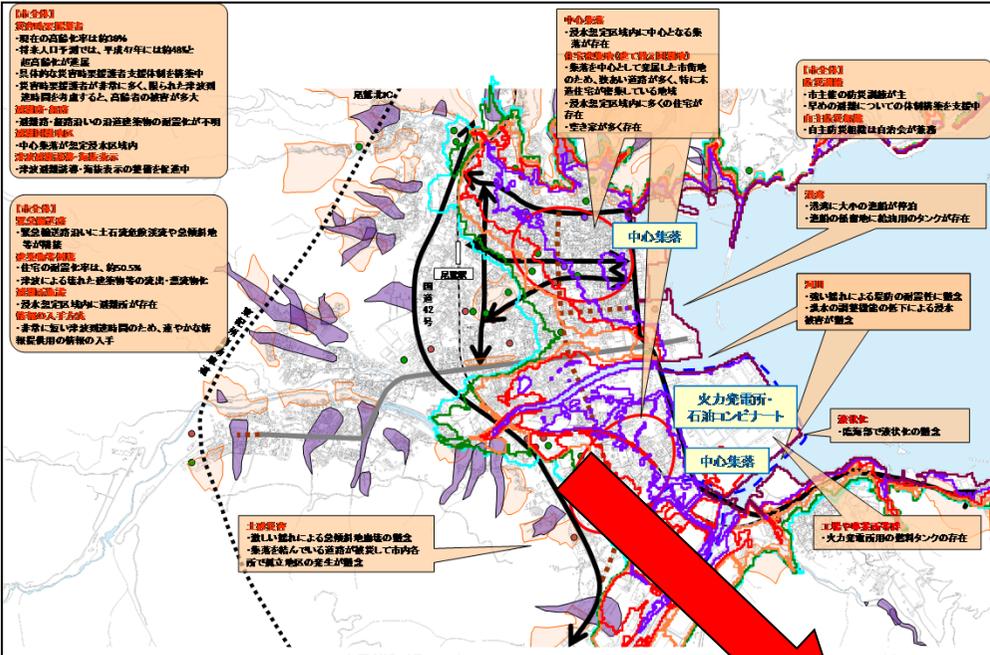


半島・島しょ部における 地震・津波災害に強いまちづくりの検討 (モデル地区 尾鷲市)

本資料は、「地震・津波災害に強いまちづくり基本方針(案)」(以下「基本方針」という。)は、地震・津波災害に強いまちづくり検討委員会において『地震・津波災害に強いまちづくりガイドライン(中間とりまとめ)(案)』を作成するため、中部圏の地域特性を代表する市町を事例として作成されたものです。

本基本方針で記載されている長期施策は、検討委員会でケーススタディとして作成されたものです。このため、本基本方針で記載されている計画・施策等は、実際に国・県・市町等で計画されている施策とは異なります。

半島・島しょ部の現況・課題図(尾鷲市)



中心集落
 浸水想定区域内に中心となる集落が存在
 集地(建て替え困難地)
 中心として発展した市街地、狭あい道路が多く、特に木が密集している地域
 ・浸水想定区域内に多くの住宅が存在
 ・空き家が多く存在

【市全体】
防災訓練
 ・市主催の防災訓練が主
 ・早めの避難についての体制構築を支援中
自主防災組織
 ・自主防災組織は自治会が兼務

港湾
 ・港湾に大小の漁船が停泊
 ・漁船の係留地に給油用のタンクが存在

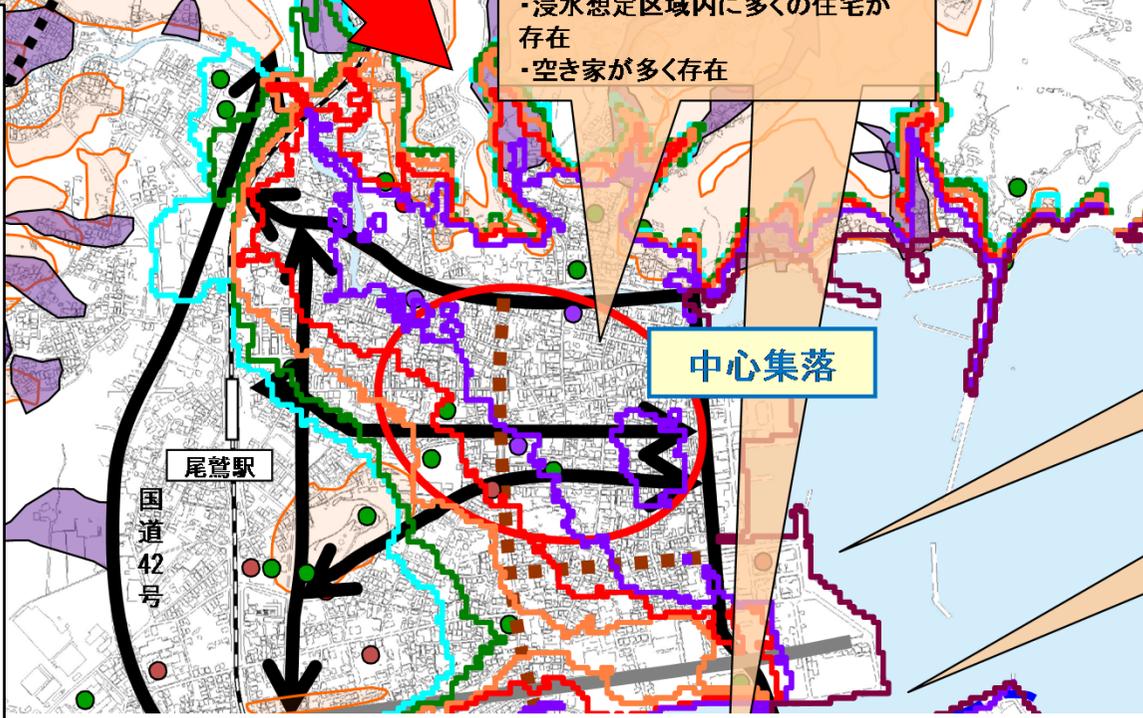
河川
 ・強い揺れによる堤防の耐震性に懸念
 ・洪水の調整機能の低下による浸水被害が懸念

凡例

- 避難場所
- 防災拠点
- 防災活動拠点
- 津波避難ビル
- ↔ 緊急輸送路
- 都市計画道路(整備済区間)
- - 都市計画道路(未整備区間)
- ▨ 急傾斜地崩壊危険箇所
- ▨ 土石流危険渓流

ケース⑦ 浸水想定

- 浸水深1m
- 浸水深3m
- 浸水深5m
- 浸水深7m
- 浸水深10m



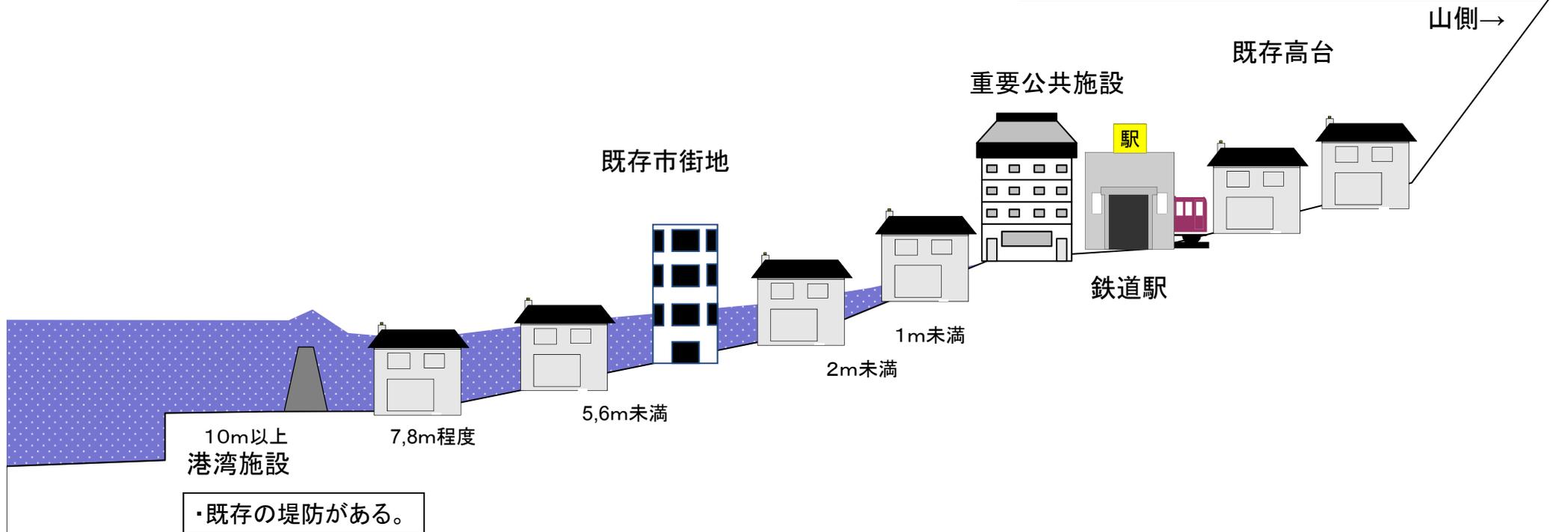
※ 津波浸水想定は、南海トラフの巨大地震モデル検討会(H24.8.29 中央防災会議)の津波浸水想定を示す

半島・島しょ部の現況(モデル地区を参考に横断図を作成)

●想定される被災状況・特徴

- ・激しい揺れ(震度7)
- ・津波高10m以上(浸水深では市街地で概ね7~8m以下)
- ・リアス式海岸で津波高さ・波力増幅
- ・津波による2次災害
- ・避難時間が短い(概ね10分程度は確保可能)
- ・平坦な土地が小さい(可住地が小さい)

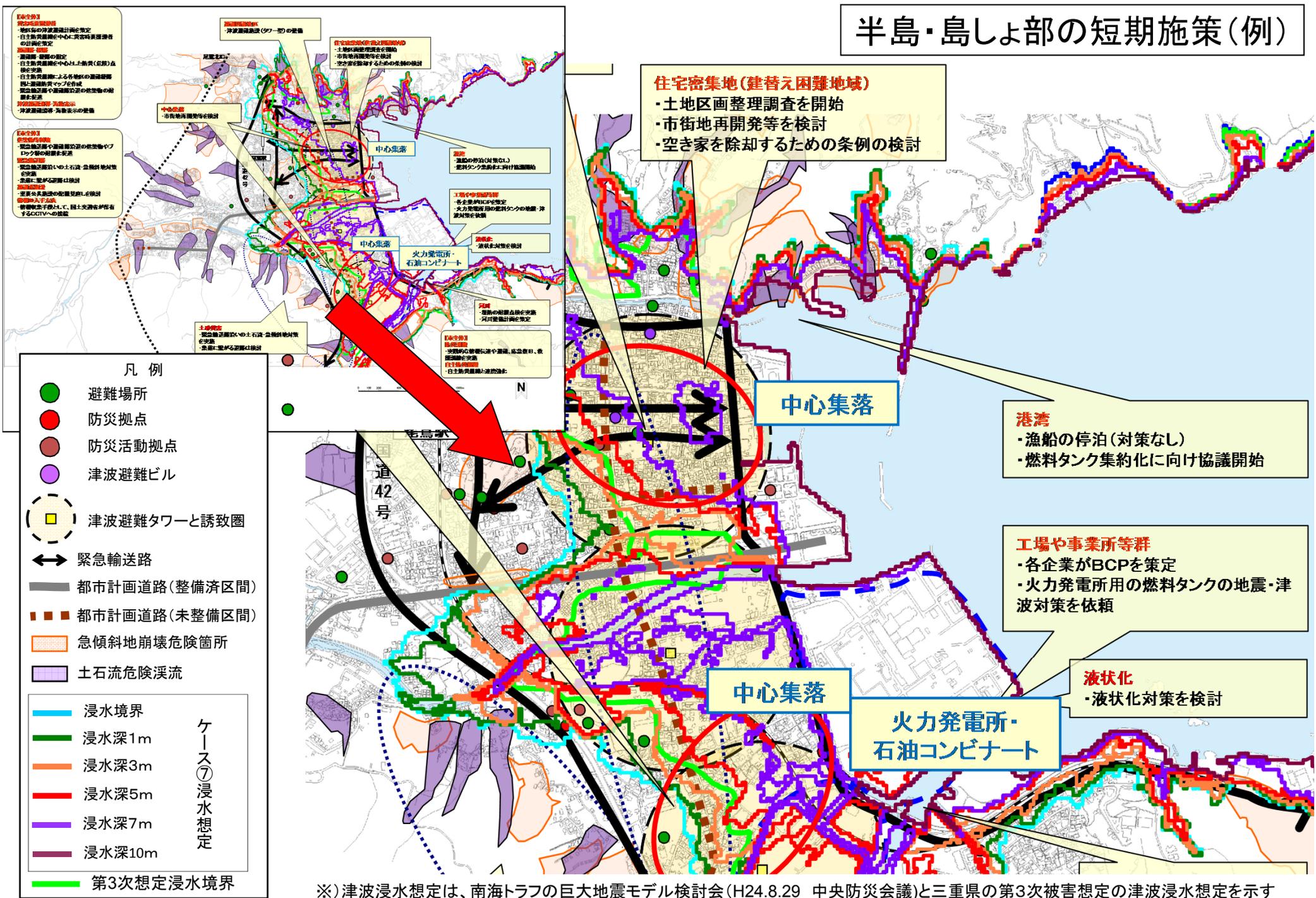
・リアス式海岸では津波が集中し、津波高が大きくなり、一気に海から山の裾野まで、津波が駆け上る。避難場所までの距離は比較的短い勾配もあり、全ての住民が短時間で避難するためには自分の判断で行動等することが重要。



※)堤防(水門を含む)については、津波が現況の堤防を越えた時点で堤防が機能しなくなる(破堤、堤防なし)と想定。

※)津波浸水想定は、南海トラフの巨大地震モデル検討会(H24.8.29 中央防災会議)と三重県の第3次被害想定津波浸水想定を示す

半島・島しょ部の短期施策(例)



住宅密集地(建替え困難地域)

- ・土地区画整理調査を開始
- ・市街地再開発等を検討
- ・空き家を除却するための条例の検討

港湾

- ・漁船の停泊(対策なし)
- ・燃料タンク集約化に向け協議開始

工場や事業所等群

- ・各企業がBCPを策定
- ・火力発電所用の燃料タンクの地震・津波対策を依頼

液状化

- ・液状化対策を検討

火力発電所・石油コンビナート

- 凡例
- 避難場所
 - 防災拠点
 - 防災活動拠点
 - 津波避難ビル
 - 津波避難タワーと誘致圏
 - ↔ 緊急輸送路
 - 都市計画道路(整備済区間)
 - 都市計画道路(未整備区間)
 - ▭ 急傾斜地崩壊危険箇所
 - ▭ 土石流危険渓流
- ケース⑦ 浸水想定
- 浸水境界
 - 浸水深1m
 - 浸水深3m
 - 浸水深5m
 - 浸水深7m
 - 浸水深10m
 - 第3次想定浸水境界

※) 津波浸水想定は、南海トラフの巨大地震モデル検討会(H24.8.29 中央防災会議)と三重県の第3次被害想定での津波浸水想定を示す

モデル地区(半島・島しょ部)の短期イメージ(横断図)

●想定される被災状況・特徴

- ・激しい揺れ
- ・津波高の最大10m以上
- ・リアス式海岸で津波高・波力増幅
- ・津波による2次災害の発生
- ・避難時間が短い

- ・平坦な土地が小さい

震度7

浸水深では中心市街地で最大7~8m程度

土地利用の規制等に対応

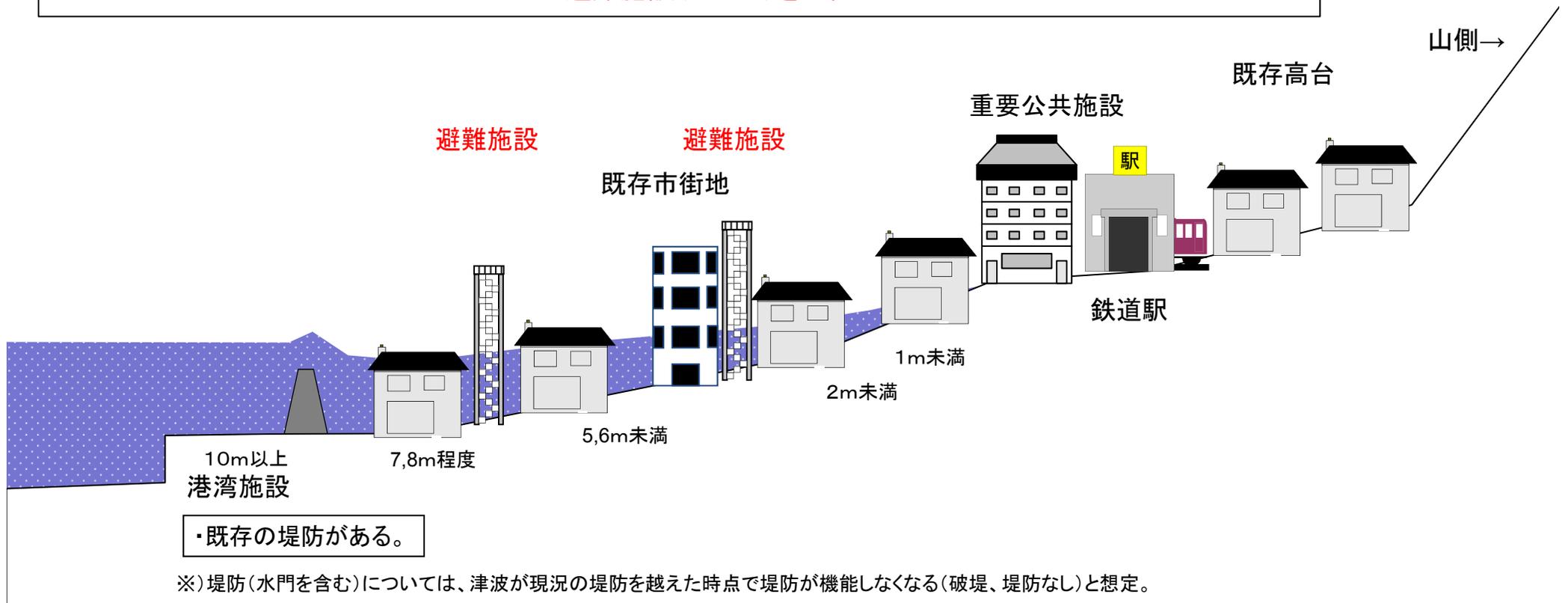
津波火災は自主防災組織と連携

自分の判断による避難場所への避難(防災教育)

速い情報の入手と確実に素速い情報の伝達

浸水深は深い

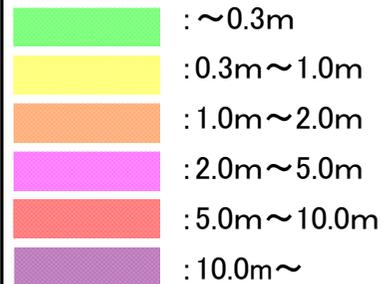
避難施設(タワー)を配置



半島・島しょ部の土地利用+整備イメージ(平面イメージ図)

凡例

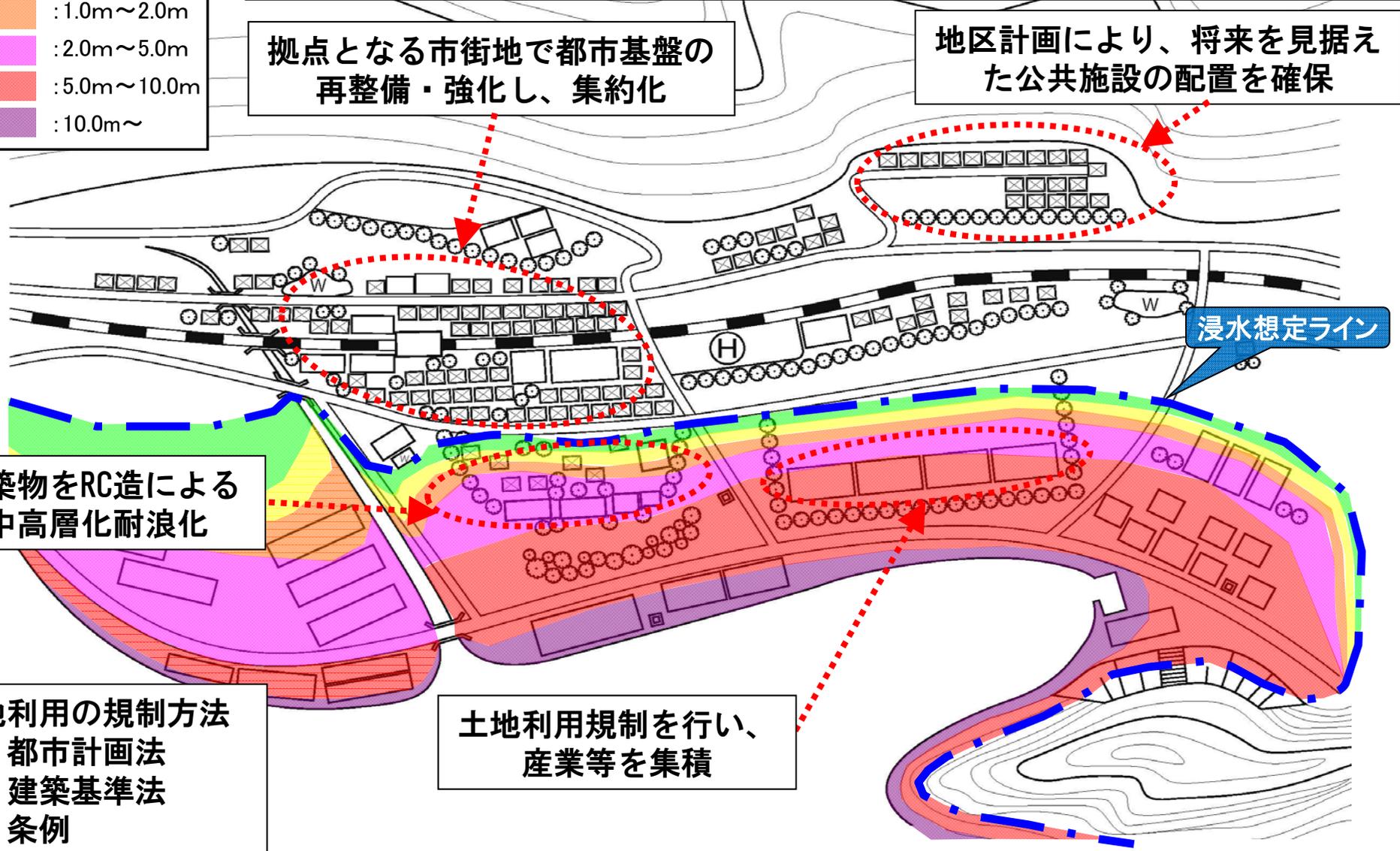
浸水深



拠点となる駅周辺の都市基盤の再整備や再開発を行い、業務や商業、居住等を集約化し、コンパクトな市街地を形成

拠点となる市街地で都市基盤の再整備・強化し、集約化

地区計画により、将来を見据えた公共施設の配置を確保



浸水想定ライン

建築物をRC造による中高層化耐浪化

土地利用の規制方法
・都市計画法
・建築基準法
・条例

土地利用規制を行い、産業等を集積

半島・島しょ部 グランドデザインのイメージ図

<特徴>

- ・激しい揺れ
- ・津波高さ10m以上
- ・津波到達時間が短い
- ・リアス式海岸で津波高さ・波力増幅
- ・津波による2次災害
- ・平坦な土地が小さい(密集した市街地)

*リアス式海岸では津波が集中し、津波高が大きくなり、一気に海から山の裾野まで、津波が駆け上る。避難場所までの距離は比較的短い勾配もあり、全ての住民が短時間で避難するためには自分の判断で行動等することが重要

拠点となる市街地で都市基盤の再整備・強化し、集約化

地区計画により、将来を見据えた公共施設の配置を確保

土地利用規制を行い、産業等を集積

建築物をRC造による中高層化耐浪化

土地利用の規制方法

- ・都市計画法
- ・建築基準法
- ・条例

